

衆議院選挙予定候補

様

## 国民のいのちを守るためのお願い

2021年9月22日

兵庫県社会保障推進協議会会長  
会長 武村 義久



衆議院選挙予定候補として、国民のいのちと暮らしを守るために、日夜ご奮闘いただいていることに対し、敬意を表します。

私たちの団体は、6月に閉会した第204回国会に、「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための」国会請願署名を約55万筆提出しました。この請願署名の賛同・紹介国会議員は135名に達し、地方議会での同じ請願項目の陳情・請願は228議会で採択され、国に対しての意見書も相当数が送付されました。

請願を行った項目は、今なお続くコロナ禍の中で、医療・介護関係者は当然のこと、多くの国民がこれまでの医療や公衆衛生体制のぜい弱さについて身を持って感じ、早急に改善が必要と求めた共通の改善要望です。

しかし、それほどの国民の声と地方議会の意見、国会議員の応諾があったにも関わらず、衆参両院ともにこの請願は審査未了扱いとなりました。しかも、国会では、この切実な請願とは相反する、病床削減を促進する内容や医師の長時間過重労働にお墨付きを与える内容などを盛り込んだ医療法等一部改正案と、高齢者の医療費窓口負担を倍化させる健保法等一部改正案が成立されました。医療提供体制に悪影響を及ぼし、国民の受療権侵害にもつながる法案成立に対し、私たちは強い憤りを感じています。

兵庫県でも、感染者が入院できずに自宅待機や介護施設へ留置きがされています。介護施設利用者の状態が悪化し行政に利用者の入院依頼をしたところ「85歳以上の高齢者については搬送しないことになった」と対応されました。現在も酸素濃度が悪化しないと入院対象としないなど、医療体制の脆弱さにより命の選別がされています。「本来救えるはずのいのちが救えない」事態に陥っています。もしコロナ感染拡大が収まったとしても、2022年に高齢者医療費窓口負担倍化が実施されれば、受診抑制を引き起こし重症化した患者の拡大が危惧されます。

国会請願は採択されませんでした。一刻の猶予もなく、この請願項目の具体的実施が求められている情勢に変わりはないと考えています。

そのような観点から、ぜひ公約・マニフェストに次の項目を掲げていただき、国会での活動をされることをお願いするものです。

下記の項目について「賛同し公約に反映する」もしくは「要望には応えられない」のどちらかをお考えをお示しいただければ幸いです。

回答をお待ちしております。

1. 今後も続く感染症の対策に備え、保健所の拡充設置と、医師・看護師・介護職・保健師等の増員について、政府にその必要性を認めさせ、拡充・増員計画を示させること。
2. 公立・公的病院の再編統合「再検証リスト」を撤回し、新たなウイルス感染症や大規模災害に対応する病床の設置と、その大半を担う公立・公的病院の拡充計画を示させること。
3. 大規模で頻回にPCR検査を国の施策として実施し、新型コロナ感染拡大を抑え込むこと。
4. 75歳以上の医療費窓口負担2割導入の実施を撤回すること。

---

## 国民のいのちを守るためのお願い 回答書

項目1； 賛同し公約に反映する 要望には応えられない

項目2； 賛同し公約に反映する 要望には応えられない

項目3； 賛同し公約に反映する 要望には応えられない

項目4； 賛同し公約に反映する 要望には応えられない

ご意見等がございましたら、ぜひご記入ください

お名前

衆議院選挙

区予定候補

所属政党 ( )

### お問合せ・返信先

ご回答は同封の返信封筒にて郵送いただくか、下記のFAX,メールアドレスへお送りください。

兵庫県社会保障推進協議会 担当 堤、北村

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3番7兵庫民医連内

電話(078)303-7351 FAX (078)303-7353 Eメール:syahokyou@hyogo-min.com